時事新報

内地雜居怖るゝに足らず

條約改正に熱心なる論者の言を聞くに所謂對等條約を主張して法權稅權共に一時に回復す可しと云ふ其精神は我輩に於ても異議なき所なれども獨り内地雜居を嫌ふて恰も外人を怖るゝの情あるは如何にも解す可らず對等條約とは彼我の國力を同等のものと見て双方の權利を均一にするの趣意なるに然るに彼國人の實力を怖れて一目を置きながら條約面の上にのみ對等を云々するは辻褄の合はぬ談のみならず法權稅權をば全く自由にして内地雜居を許さずとの條約は即ち對等以上のものにして世界各國の交際に果して其例ありや否や我輩の曾て知らざる所なり抑も論者が外人を怖れて其雜居を嫌ふ所以の理由は第一は商賣の競爭、第二には不動産等の占有にして若しも雜居を許して彼國の商人資本家が續々内地に入込む曉には日本の商工業は悉く彼等の爲に壓倒占有せられて國の富源を空ふするに至る可しと漫に杞憂を憂ふるみとならんなれども畢竟するに政治上の想像論より判斷を下すのみにして今の日本の實業家は却て外人を怖れざるの事實あるを知らざるものなり開港の當初に於ては彼我共に事情不案内にして例へば日本人が洋酒の空瓶を珍重して床の間の飾物にすれば外國人は我天保錢の權圓にして異樣なるを悅び價一弗に買ふて珍藏するなどの奇談さへありたる程の次第にして隨て商賣取引の上にも不都合少からず大判小判の賣買には彼に非常の利を占められたる其代りに我は生絲の取引に彼を欺く等雙方共に不案内の間に相利する其中にも外國貿易の無經驗は如何ともす可らず平均して我に損失の多きを見たるみとなれども今日は則ち然らず外國の事情次第に明白なるに隨て實際の有樣を察すれば日本に居留する外商の如き必ずしも大資本家にあらずして日本の貿易を左右するに足らざるは勿論、我商人の信用は次第に外國の市場に重を成し内外相對して物を賣るにも買ふにも其本國と直達の取引漸く便利を致したるに付ては今後日本の商人が漸く此點に着眼するときは從前恰も仲買の利益に衣食したる居留地の外商等も遂には業を失ふて手を束ねるに至る可しとて左まで之を意に介せず假令ひ我より進で殊更に彼等の業を妨げざるも商賣上に其興みし易きを知らざるものなし左れば雜居を許すの曉に内地に入込む者も失張り今日の居留外商か然らざるも之と同一の人種なる可きに然るに其雜居を怖れて特に之を云々するは實際の事情を知らずして政論の夢中に空瓶天保錢の當時代を想像するものに外ならず元來今の政客は常に高人を蔑視して無氣力なり無神經なりと嘲りながら其商人の怖れざる外國人を論者自身は恐怖して共に内地に居るを憚るとは如何にも不似合ひの沙汰にして。我輩の腦に氣の毒に思ふ所なり然らば商賣は心配なしとして土地は如何にと云ふに元來日本の農業は千百年來經驗に經驗を積み今日に至りては殆んど極度の發達を爲したるものなれば如何なる新工風を施すも此上の收利は到底覺束なきのみか土地の所有は古昔より一種の習慣ありて容易なる業に非ず現に今日邦會の富豪が田會の田畑山林を所有せんとするも先づ其監督の困難を思ふて斷念する者多きの常なり況して其違の事情は今く不樂内なる外人が日本の内地に土地を所有して如何す可きや農業の利を目的にして資本を土地に投ずるなどは思ひも寄らざる所なる可し鑛山とても同樣にして銀山なり銅山なり石炭山なり相應に利益あるものは既に夫れ〳〵着手して遺す所なきのみならず近年來我國學術の進歩は非常にして鑛山の事に堪能なる學士技師も少からず外國の招きに應するものさへもある程の次第なれば内國の鑛山に就ては最早や遺利の拾ふ可きものはある可らず故に外人にして日本の鑛業に着手せんとするものもあらば即ち山師の輩にして投機を試みるか然らざれば他に欺かれて看す〳〵金を損する愚者に外ならざるを得ず左れば今日の有樣に於ては土地なり鑛山なり苟も利に敏き外國人が資本を投ずるの皆なければ假令ひ雜居を許せばとて此點に就ては論者も安心して差支なかる可き其反對に外人の雜居は直接間接に我國に利する所少なからず此事に就ては我輩の屢ば論じたる所なれども尚は其緒に就て餘論を述ふるみとある可し

官報

○農商務省訓令第二十五號

其縣下連光寺村御獵場ノ内南多摩郡稻城村及都築郡佛生村ノ内字黑川（今般御獵場ノ名稱解除相成候旨宮内省ヨリ照會ニ付此旨心得ベシ）

明治二十五年九月十日　内務大臣伯爵井上馨
農商務大臣伯爵後藤象二郎

雜報

○福嶋少佐の遠征記事（二）　神奈川縣

四月十日に宿りたる百姓家は寒村の木賃宿にして其不潔汚穢云はん方なく家族の室に隣て唯一の狹き客室あり之が客たる者は着の身着の儘土足を以て出入し水床に藁を敷いて眠るものなり主人は始め少佐をも此室に誘ひしかど如何にも堪へ難きより敢て主人に別間を請ひしに主人も十五箇月間馬に跨るの外國人と聞き半ばは憐れみて自分の寢室を與へたり少佐は此室にて仕事を終り書翰を認めて一時頃蓐に就かんとせしも蚤は百姓老爺が年中穢れたる衣服にて眠りしものとて臭氣深く濕氣を帶び且つ白布なきを以て少佐は先づ「ヤッ」を脱して枕を蔽ひ外套を布團の上敷と爲して漸く横になりたり然るに臭蟲は或と共に大擧して來り侵し流石剛膽の少佐も輾々煩悶して三時の時鐘を聞くに及ぶ遂に眠りに就き兼ねたり

十一日四十九露里を行けり正午塞暖計六度に昇りて氣候漸く温和なる爲め氷雪解け始めて馬跡深く陷り驅行甚だ不便にして馬上九時三十分を費せり露都發程以來は沿道稀に寒村を見るのみなるが故に三日の間毎食單に麵麭と鷄卵と茶との外は一物を得ず併し玉子は少くとも一日に三十餘箇、茶も亦二十餘杯を呑めり

十二日には四十六露里にしてノヴゴールド市に着けり此地は名高き古市にして川に枕し潮に臨み風光頗る佳なり旅宿に達して先づ馬の始末を爲し取る物も取り敢へず急きソップと燒肉とを食せり四日目の汁肉、大半は物かは洵に美味の頂上と舌を皷したり食事中歩兵聯隊長來訪せり先年プレスラウ大演習の節に知り合ひし人なり

十三日乘馬凱旋の爲めに半日を休み正午發して二十五露里を行きプラニチーに投宿せり其起程に臨み聯隊長を悉んで餞念する者多きの常なり況して其違の事情は今く不樂内なる外人が日本の内地に土地を所有して如何す可きや農業の利を目的にして資本を土地に投ずるなどは思ひも寄らざる所なる可し鑛山とても同樣にして銀山なり銅山なり石炭山なり相應に利益あるものは既に夫れ〳〵着手して遺す所なきのみならず近年來我國學術の進歩は非常にして鑛山の事に堪能なる學士技師も少からず外國の招きに應するものさへもある程の次第なれば内國の鑛山に就ては最早や遺利の拾ふ可きものはある可らず故に外人にして日本の鑛業に着手せんとするものもあらば即ち山師の輩にして投機を試みるか然らざれば他に欺かれて看す〳〵金を損する愚者に外ならざるを得ず左れば今日の有樣に於ては土地なり鑛山なり苟も利に敏き外國人が資本を投ずるの皆なければ假令ひ雜居を許せばとて此點に就ては論者も安心して差支なかる可き其反對に外人の雜居は直接間接に我國に利する所少なからず此事に就ては我輩の屢ば論じたる所なれども尚は其緒に就て餘論を述ふるみとある可し

十四日は五十四露里にしてクレスツスに着けり

十五日　五十三露里
十六日　四十六露里
十七日　三十八露里
十八日　六十六露里

十九日起程後三十二露里を行けば一條の河流融雪は水溢れて對岸に越ゆるみと能はず餘儀なく其地の寒村に宿り翌日午後三時頃手を與へて舟子を駈さし氷塊激流の間に小舟を操つりて河を渡りそれより二十六露里にしてトヴァーに達しヴォルガ河左岸の龍騎兵第一聯隊營に投宿せり二十一日は同河滿水にして氷塊充塞せるに由りトヴァーに止まれり

○英國新國會の開會　英國に於ける纔撰擧後の國會は兼て報ぜし如く八月四日を以て開會せり當日は六年振に一新せし議員の始めて來會する日なれば議場最寄の場所は見物の人塚の如く各々其心服する人撰擧せし人、朋友知人の通過を待ち受けて喝采する有樣騒がしきまでに喧しかりしと云へりグラッドストーン氏は夫人に伴はれ馬車にて入込み更に盛んなる喝采を受けたり廻て下院議場にては議長を撰ぶに當り前議長ビール氏を再撰せんとの動議を起せしものありグ氏之を贊成して大に拍手喝采を受け是に於て同氏引續いて議長たるみとに決しければ氏は簡短に謝辭を陳べ其日は閉會せり翌日も引續いて開會し數日間は宣誓等の諸手續きを爲すに費し八月八日に至りて兩院議員を上院に召集し開會の勅語を朗讀す其文遣左の如し

國會は既に六月廿八日の解散前に實際其業務を完了したるが故に此不時の日に於て引續き開會するの必要なし來秋に至りて例の如く開會する時は重ねて國家の改良發達に關する處置に付き注意を促す所あるべし

朗讀終りて兩院共休會し下院は四時より再び開會更に勅語を朗讀したるに自由黨員は末文に對して不服を唱へ保守黨員バートン氏は奉答案を提出せり續いて之に贊成するものもありたれど間もなく「下院は政府を信任せずとの文意を加へんと」アスクイス氏より修正説を起しラッセル　レッドモンド氏之に贊成の演説を爲せり當日は是等の邊にて閉會し翌九日の討議に於ては グ氏の政府攻擊バルフォア氏の辨駁等あり更に同十二日の討議に於て追々議論紛擾の末三百十に對する三百五十の多數にて遂に修正案を可とするに至りければ政府は即日内閣會議を催して彌よ辭表を呈するみとゝなりたるなり

○米國通信　（フヰラデルフヰヤ州ニヤルヴエニヤ市ニ於テ）

米國ペンシルヴエニヤ州ニヤルヴエニヤ市ハ近傍に一大鋼工場あり職工場に上る工夫家族の爲めにホームス、テッドと稱す工場に位するカーネギー氏に分の一は此工場より製出政府の軍器軍艦製造に用ふて盛大に赴けり

右の如く多數の職工を使ふ工場にて常に工場主と職工との間又是非なき次第なり先頃幾箇月間の平均を以て爾後幾箇月間の平均を以て之に比方同意の上愈々然かする市況面白からず價格日に日より新標準により賃金を一箇月半に渉るも紛議未だ堅く到底調和の望なき罷工して他職工の同工場に穏の事動めるを以て工場主は自由安全を保護せんとして探偵請負社に依頼し同工場を守らしめんとは大に感情を害し工場主は大に感情を害し一般の怒氣甚だしく一般職工等は其上に罷し來るや職工等は其上に罷れり斯くて數時間爭鬪の末雙方數人の死傷者あり公安保護の爲めに探偵を以て其職務を全ふしたるとは其職務を全ふしたるとソン氏に義勇兵の出陣を七千餘人の兵員を繰出し暮し來りたるが今日にて其餘一部は悉く同地を引揚げとは未だ調和するに至らずと云へるの運に至らずと云へり

○陸軍召集條例　は義に鍋歩兵大佐を始め外數名に着手せし次第は先頃の諸氏は召集上に於る實地方へも出張し此程歸京十月中には審査を畢る

○岐阜縣下の地震　岐阜縣下の地震しよしよなるが左程の事は無なり詳報は餘り詳報を聞く新聞紙には餘り詳報を聞く電信局より遞信省に達し岐阜市は一時各井水を裂を生したるのみ上加時噴水す田園の龜裂厚見郡内は下加納下川地近隣井水執も一時堤塘少しく破損家羽栗郡内は略々岐阜市沙を噴出し殆ど一日各務郡内は新加納鄭